

希望と期待を胸に

入園式・入学式

村内保育園の入園式が四月五日、関川中学校の入学式が四月六日にそれぞれ行われました。

今年、村内の保育園に三十三人が新たに入園。(下関保育園二十五人・大島保育園

五人・女川保育園三人)

下関保育園では、須貝やい子園長が一人ひとり呼名すると、新入園児は「はい」とかわいい声で返事をしました。

関川中学校では、新しい制

服に身を包んだ六十三人の新入生が在校生や保護者らの拍手で迎えられ入場しました。

式では、前期生徒会長の磯部晃さん(三年生・上関)が「困ったことがあったら、いつでも相談してください。三年間みんなで泣いて、笑って励まし合っていきましよう」と歓迎。また、新入生を代表して、加藤和樹さん(下関)が「あいさつをきちんとして決まり良い学校生活を送りたいです」と誓いの言葉を述べました。



25人が入園した下関保育園



新しい制服に身を包んだ新入学生63名

平成22年度の園児・生徒数

平成22年4月1日現在

保育園		下関	大島	女川	計
	0歳児	1	0	0	1
	1歳児	9	0	0	9
	2歳児	14	0	2	16
	3歳児	27	8	8	43
	4歳児	28	11	2	41
	5歳児	32	11	7	50
	計	111	30	19	160

中学校		1年	2年	3年	計
	関川	63	65	74	202
	村上中等	0	1	0	1

みんなの手できれいな村に
(土沢集落内)



4月4日、早朝から村内一斉にクリーン作戦が行われ、参加者は手に大きなゴミ袋を持って空きカン等のゴミを拾い集めていました。

皆さん、朝早くからおつかれさまでした。

春の息吹を感じながら

村民ウォーキング・駅からハイキング



四月十八日、健康づくりの一環として、村主催の村民ウォーキングが開催されました。また、JR東日本新潟支社の企画で、駅からハイキングもあわせて行われました。

村民ウォーキングには、子どもから大人まで約五十人が参加。ふれあいど〜むで開会式を行ったあとにスタートし

ました。

コースは、ふれあいど〜むを出発して、荒川堤防を通り、高瀬・湯沢からど〜むまでの全長五^{キロ}の、その名も「歩いて健康!大したもん蛇コース」。当日は、風が吹いて、少し肌寒い中でしたが、参加した皆さんは、気持ち良さそうにウォーキングを楽しんでいました。

駅からハイキングには、村外から約五十人が参加。朝、越後下関駅に集合し、スタート。ふれあいど〜むで村民ウォーキングの参加者と合流し、大したもん蛇コースへ。

新潟市から夫婦で参加された男性は、「駅からハイキングには何度か参加していますが、関川村をゆっくり歩くのは初めてです。桜が咲いていないのが残念ですが、ウォーキングは体調管理に良く、気持ちが良いです」と話していました。新潟市から友人と参加された女性は、「関川村は空気がおいしい。今度は大したもん蛇まつりに参加してみたい」と意気込んでいました。

また、ゴール地点のふれあいど〜むでは、村の食生活改善推進員の皆さんからしいたけやさといもなど村の食材を使った「米粉すいとん汁」が振る舞われ、ゴールした皆さんは「体が温まるし、とてもおいしい」と喜んでいました。そのほか、記念品として、平田大六村長手作りの「完歩認定証」が皆さんに渡されました。

今年は、例年に比べると、桜の開花が遅く、桜並木を散

策できずに残念がつている参加者の方もいましたが、道端には、つくしが芽を出し、春の表情を感じることが出来ました。

春を満喫 かたくりの花

四月上旬から中旬にかけて鷹の巣キャンプ場では、かたくりの花が開花しました。淡い薄紫色の花が、あたり一面に群生し、春の訪れを教えてくれました。

村内では、鷹の巣キャンプ場のほかに、湯沢観音公園でもかたくりが花を咲かせます。



通学時間 子どもたちに安全指導

4月からバス通学が始まり、多くの児童は役場前から県道を渡り、小学校まで通学していて、通学路は、登校してくる児童でいっぱいです。

村の青少年育成関川村民会議（伝信男会長）のメンバーが中心となり、関川小学校児童の通学時間に合わせて、交通安全指導を行いました。

小学校近くの横断歩道では、関川小学校の川村三千男校長が、登校してくる子どもたちに、「おはよう。よく信号を確認して渡ってください」と声を掛け、通学の様子を見守っていました。

通学時間は出勤時間と重なり、車の交通量も増えることから交通事故が心配されます。皆さんも交通安全をお願いします。



▶鷹の巣キャンプ場内のかたくりの花